

雑貨＆アクセサリデザイン科		講師名： 内村 翔太	
科目名： 1年前期 Adobe演習		1学年	前期
担当者実務経験： 3Dモデリング・3Dアニメーション・AE映像編集・UE映像制作		講義種別： 演習	
到達目標	Adobe PhotoshopとAdobe Illustratorの基礎習得		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介 Adobe PhotoshopとIllustratorの概要	PhotoshopとIllustratorのインストール	
2	Adobe PhotoshopのUIと操作の解説		
3	Adobe Photoshop 基礎1		
4	Adobe Photoshop 基礎2		
5	Adobe Photoshop 基礎1.2の課題		
6	Adobe Illustrator 基礎1		
7	Adobe Illustrator 基礎2		
8	Adobe Illustrator 基礎1.2の課題		
9	Adobe Photoshop 基礎3		
10	Adobe Photoshop 基礎4		
11	Adobe Photoshop 基礎3.4の課題		
12	Adobe Illustrator 基礎3		
13	Adobe Illustrator 基礎4		
14	Adobe Illustrator 基礎3.4の課題		
15	PhotoshopとIllustratorのまとめ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 西村 政俊	
科目名： 1年前期 ソーイング制作		1学年	前期
担当者実務経験： アパレル会社企画部勤務→ファッションデザイン会社（個人事業）		講義種別： 演習	
到達目標	雑貨アイテムの中で布作品の素材、デザイン、ソーイングなどのテクニックを学び知識と技術を習得する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ソーイングの基礎①	授業の説明、道具の説明、ミシンなど機械の説明	
2	ソーイングの基礎②	手縫い（地縫い、まつり縫い）	
3	ソーイングの基礎③	ボタン付け、前カン付け	
4	ミシン縫いの基礎①	ミシンの操作、使い方、直線縫い、曲線縫い	
5	ミシン縫いの基礎②	カーブ、角の縫い方、バイアステープの作り方	
6	ミシン縫いの基礎③	筒の縫い方、ロックミシンの縫い方	
7	ファスナーの付け方①	ビスロンファスナー	
8	ファスナーの付け方②	コンシールファスナー	
9	ファスナーの付け方③	ポーチ	
10	リサーチ①	ショップのリサーチ	
11	リサーチ②	素材のリサーチ	
12	小物の制作①	ぐるぐるポーチ、巾着袋	
13	小物の制作②	がま口ポーチ	
14	小物の制作③	マカロンケース	
15	予備日		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 森 賢太郎	
科目名： 1年前期 ファッションコーディネート		1学年	前期
担当者実務経験： フリースタイリスト29年目 広告・CM・雑誌などの衣装担当		講義種別： 演習	
到達目標	トレンドの考察も含め、教養範囲の拡大を行い、客観的にセルフプロデュース出来る力をつける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	セルフマネージメント	現在の自分と理想の自分を自身を撮影した写真を持ってイラスト平面構成	
2	2026Spring&Summertrendリサーチ	今シーズンのファッショントレンドリサーチを行い、レポートの提出	
3	2026Spring&Summertrendマップ【1/3】	トレンドマップの作成	
4	2026Spring&Summertrendマップ【2/3】	トレンドマップの作成	
5	2026Spring&Summertrendマップ【3/3】	トレンドマップの作成及び完成提出	
6	トレンドコーディネートプランニング	トレンドを取り入れたコーディネートプラン	
7	トレンドコーディネート撮影	コーディネート撮影	
8	トレンドコーディネート平面構成【1/2】	撮影作品を使用して平面構成	
9	トレンドコーディネート平面構成【2/2】	撮影作品を使用して平面構成	
10	Tシャツコーディネートマップ作成（1/3）	Tシャツテーマのマップ作成	
11	Tシャツコーディネートマップ作成（2/3）	Tシャツテーマのマップ作成	
12	Tシャツコーディネートマップ作成（3/3）	Tシャツテーマのマップ作成及び完成提出	
13	2026-2027Autumn&wintertrendリサーチ	次シーズントrendリサーチ及びレポート提出	
14	2026-2027Autumn&wintertrendマップ（1/2）	トレンドマップの作成	
15	2026-2027Autumn&wintertrendマップ（2/2）	トレンドマップの作成及び完成提出	
成績評価	演習作品の提出		

雑貨&アクセサリーデザイン科		講師名： 北島 綾子	
科目名： 1年前期 雑貨アクセサリーデザイン		1学年	前期
担当者実務経験： ：フリーランスのデザイナーとして個人や企業からのアパレル、雑貨のデザイン、製作を手掛ける。「C.A Dimple」の代表として、企業と若手クリエイターとの架け橋となり支援活動を行う。クロバー（株）企画のパフェプロジェクトチームとしてハンドメイドサポートを行う「f-pallet」の代表		講義種別： 演習	
到達目標	雑貨&アクセサリーをファッションの一部としてとらえ、ファッションやインテリア全体の一部として作品や商品をデザインして提案できるようになる。その後さらに発展させていくことができ、広い意味での企画デザインを提案もできるようになるのが目標		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介（講師、学生） 授業内容のながれ、 雑貨屋リサーチ（PC）	雑貨屋リサーチしたのをレポートにまとめる	
2	インスピレーションソースを集める リサーチすることを学ぶ・世界の雑貨店を見る・民族服を調べる・服装史を学ぶ画像集める	世界各国のフォルダを作り、民族服の画像を集める。服装史の年代別にフォルダを作り、画像を集める	
3	前回の授業の課題をチェックし、さらに増やす 「世界各国のフォルダを作り、民族服の画像を集める 服装史の年代別にフォルダを作り、画像を集める」	前回の課題を提出する「世界各国のフォルダを作り、民族服の画像を集める。服装史の年代別にフォルダを作り、画像を集める」	
4	デザインの基礎	基礎デザインのプリントをまとめファイルにする	
5	素材研究	授業内でできなかったことがあれば完成させる	
6	デザインの起こし方 インスピレーションソースを集める～デザインの3大要素～ラフスケッチ～デザイン画～作品や商品へ	授業の復讐	
7	言語イメージスケール デザインの三要素ふまえて 言語に合ったイメージの画像を集める	言語イメージスケールをできるところまでやってくる	
8	言語イメージスケール デザインの三要素踏まえて 言語に合ったイメージの画像を集める	言語イメージスケールを完成させる	
9	今までの授業で学んだことを生かしながら、オリジナル作品のデザインを起こしてみる。イメージマップの作成からテーマ、コンセプト、ラフスケッチ、素材などを作成していく	イメージマップの作成	
10	今までの授業で学んだことを生かしながら、オリジナル作品のデザインを起こしてみる。イメージマップの作成からテーマ、コンセプト、ラフスケッチ、素材などを作成していく	できてる人は複数作る	
11	オリジナル企画書 文化祭用のデザインの企画書と統一のものでもよし	オリジナル企画書を進める	
12	オリジナル企画書 文化祭用のデザインの企画書と統一のものでもよし	オリジナル企画書を進める	
13	オリジナル企画書 文化祭用のデザインの企画書と統一のものでもよし	オリジナル企画書を進める	
14	オリジナル企画書 文化祭用のデザインの企画書と統一のものでもよし	自分が必要なものを持ってくる	
15	予備日	遅れているものを仕上げる	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 山道 由布子	
科目名： 1年前期 雑貨アクセサリ制作基礎		1学年	前期
担当者実務経験： レジンアートデザイナー（yufu color）として、国内・国外販売の経験をし、現在約20店舗以上の常設店舗やポップアップを展開中		講義種別： 演習	
到達目標	素材やパーツの仕組みを知り、 ブランドにあったオリジナルアクセサリ制作 （木・2限目12：20～14：45）		
回	授業内容	課題内容	備考
1	4／16 ・自己紹介・前期授業内容の説明・前期授業の必要材料の説明		
2	4／23（2回分） ・パーツ購入 2年生と福岡PARCOへ		
3	4／30 ・ブランド名を決めて台紙の制作		
4	5／14 ・丸カンの開閉取得、Tピン、9ピンを使って プレスレット制作	※作品提出	
5	5／21 ・レジン基礎① →ミール皿を使って制作		
6	5／28 ・レジン基礎② →フレームを使って制作		
7	6／4 ・レジン基礎③ →モールドを使って制作	※制作物提出！	
8	6／11 ・プラ板アクセサリ① →ヘアアクセサリ制作		
9	6／18 ・プラ板アクセサリ② →立体に挑戦		
10	6／25 ・樹脂粘土① →クマさんとデザート作り		
11	7／2 ・樹脂粘土② →仕上げ	※作品提出	
12	7／9 ・オリジナルアクセサリ制作→好きな素材を使って授業時間内で、自由に制作してもらいます！目標は、着けたくなるアクセサリ作り！	※作品提出	
13	8／27 4／23分→休講		
14	9／3 ・ディスプレイ基礎		
15	9／10 ・学祭準備、期末技量考査の準備 学園祭10／2、3、4の3日間！		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 辰巳 葉子	
科目名： 1年前期 図学図法		1学年	前期
担当者実務経験： インテリアメーカーにて商品開発 カラーリング シンガポールの健康機器メーカーにてデザイン/プログラム開発		講義種別： 実技	
到達目標	作図の基本を学ぶ 手書きによる正確で丁寧な作図の練習で、たしかな図形把握能力・空間把握能力を養う 3次元の空間を2次元上に描くことができるようになる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション	◇概論 ◇製図用具の使い方	
2	図学 ① 【平面】		
3	図学 ② 【平面】		
4	図学 ③ 【平面】		
5	図学 ④ 【平面】		
6	図学 ⑤ 【立体】		
7	図学 ⑥ 【立体】		
8	図学 ⑦ 【立体】		
9	図学 ⑧ 【立体】		
10	図学 ⑨ 【空間-パース】		
11	図学 ⑩ 【空間-パース】		
12	図学 ⑪ 【空間-パース】		
13	図学 ⑫ 【空間-パース】		
14	図学 ⑬ 【空間-パース】		
15	まとめと復習		
成績評価	作図の完成度、丁寧さ、レイアウト、授業態度、出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 1年前期 描写 I		1学年	前期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー、イラストレーター、美術予備校講師、大学非常勤講師		講義種別： 実技	
到達目標	コミュニケーションを取れるデッサン力を身につける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	基礎形態①		
3	基礎形態②		
4	基礎形態③		
5	卓上デッサン①		
6	卓上デッサン①		
7	卓上デッサン①		
8	細密デッサン①		
9	細密デッサン①		
10	卓上デッサン②		
11	卓上デッサン②		
12	卓上デッサン②		
13	卓上デッサン③		
14	卓上デッサン③		
15	卓上デッサン③		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 辻 政之	
科目名： 1年前期 平面・色彩構成		1学年	前期
担当者実務経験： 自動車会社カラーデザイナー→デザイン事務所→建築設計事務所→自営デザイン事務所		講義種別： 実技	
到達目標	クリエイターに必要な不可欠な色彩学の基礎を習得する。 クリエイターに必要なとなる色彩・平面構成の基礎、表現方法、技法を習得する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション 色彩学の基礎	色彩学の基礎・・・講義・座学（プリント）	
2	色彩学の基礎（プリント） 実技課題／平面構成課題①	色彩学の基礎・・・プリント完成 平面構成課題①・・・立案・スケッチ・下描き	
3	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・下描き・彩色	
4	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・彩色	
5	実技課題／平面構成課題①	平面構成課題①・・・彩色（仕上げ→完成）	
6	実技課題／平面構成課題①（講評会） 実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・講義→立案・スケッチ	
7	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・スケッチ・下描き	
8	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色	
9	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色	
10	実技課題／平面構成課題②	平面構成課題②・・・彩色（仕上げ→完成）	
11	実技課題／平面構成課題②（講評会） 実技課題／平面構成課題③	平面構成課題②・・・講義→立案・スケッチ	
12	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・スケッチ・下描き	
13	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・下描き・彩色	
14	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・彩色	
15	実技課題／平面構成課題③	平面構成課題③・・・彩色→完成・講評会	
成績評価	作品評価60% 出席点30% 授業態度10% 授業の2/3以上出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 楠原 彰経	
科目名： 1年前期 立体構成		1学年	前期
担当者実務経験： 美術予備校講師。空間デザイン事務所での業務経験。		講義種別： 実技	
到達目標	立体的・空間的な構成力の向上と、それに伴う造形技術の習得。 ※材料費として全体で¥3,000～4,000程度の見込みです。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガイダンス 構成基礎① 「紙による表現」制作	ビルダーカード、レリーフ表現	
2	構成基礎① 「紙による表現」制作	ビルダーカード、レリーフ表現	
3	構成基礎② 「面と空間の構成」制作	1枚の材料を分割・再構成し空間表現	
4	構成基礎② 「面と空間の構成」制作	1枚の材料を分割・再構成し空間表現	
5	立体構成① 「対比の構成」制作	対比的な言葉をテーマに構成	
6	立体構成① 「対比の構成」制作	対比的な言葉をテーマに構成	
7	立体構成① 「対比の構成」制作・講評	対比的な言葉をテーマに構成	
8	立体構成② 「光の構成」制作	光の表情をテーマに構成	
9	立体構成② 「光の構成」制作	光の表情をテーマに構成	
10	立体構成② 「光の構成」制作・講評	光の表情をテーマに構成	
11	立体構成③ 「クレイフィギュア」制作	粘土による立体作品	
12	立体構成③ 「クレイフィギュア」制作	粘土による立体作品	
13	立体構成③ 「クレイフィギュア」制作	粘土による立体作品	
14	立体構成③ 「クレイフィギュア」制作	粘土による立体作品	
15	立体構成③ 「クレイフィギュア」講評	粘土による立体作品	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 松山 日出男	
科目名： 1年後期 アプリケーション演習		1学年	後期
担当者実務経験： 当校指導歴1988年度～		講義種別： 演習	
到達目標	企業会計の基礎知識と初級簿記を学ぶ 弥生会計ソフトの基本・応用操作を学ぶ(C P 会計初級合格レベル)		
回	授業内容	課題内容	備考
1	企業の経営活動と利益の計算		
2	会計処理の基本		
3	CPの関連知識と会計ソフト		
4	会計データの入力操作と帳簿の体系		
5	企業の基幹業務と会計処理		
6	会計データの入力処理と集計①		
7	会計データの入力処理と集計②		
8	会計データの集計と活用①		
9	会計データの集計と活用②		
10	会計データ演習①（人名勘定）		
11	会計データ演習②（分記法）		
12	会計データ演習③（3分法）		
13	会計データ演習④（繰越処理）		
14	練習問題（初級）		
15	課題作成		
成績評価	出席点25% 課題提出点50% 平常点25%（平常点は出席点を超えない）		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 上村 未由	
科目名： 1年後期 カラーコーディネート検定		1学年	後期
担当者実務経験： 海外ブランドを扱うジュエリーショップに勤務し、接客販売および商品提案業務に従事。ジュエリーコーディネーター資格取得の知識を活かし、素材、デザイン、用途に応じた提案を行う。その後、ブライダル業界にて新郎新婦および列席者への衣裳提案、パーティー会場のコーディネート、ブークおよび会場装花の提案など、結婚式全体のトータルコーディネート業務に従事。		講義種別： 講義	
到達目標	色彩学の基礎知識を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介・色彩検定2級案内 カラーカード貼り（24色相環・トーン表）		
2	PCCS（24色相環／トーン）		
3	色の三属性 色を見るための三要素 光と色		
4	混色 色彩心理		
5	色相配色		
6	トーン配色		
7	アクセント・セパレーション・グラデーション配色		
8	色の対比と同化 錯視		
9	色のはたらき（誘目性～色覚説）		
10	光と色1 分光分布／分光反射率曲線／視細胞／色の恒常性		
11	光と色2 照明／ランプの種類／照度～演色性		
12	慣用色名		
13	テスト		
14	配色イメージ1		
15	配色イメージ2		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 西村 政俊	
科目名： 1年後期 ソーイング制作		1学年	後期
担当者実務経験： アパレル会社企画部勤務→ファッションデザイン会社（個人事業）		講義種別： 演習	
到達目標	前期よりも高度な知識や技術を習得し、ソーイング制作に磨きをかける。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	帽子制作①	説明、型紙作り	
2	帽子制作②	裁断	
3	帽子制作③	縫製	
4	帽子制作④	縫製	
5	帽子制作⑤	縫製	
6	バッグ制作①	説明、型紙作り	
7	バッグ制作②	裁断	
8	バッグ制作③	縫製	
9	バッグ制作④	縫製	
10	バッグ制作⑤	縫製	
11	テディベア衣装制作①	パンツ型紙作り、裁断、縫製	
12	テディベア衣装制作②	ベスト型紙作り、裁断、縫製	
13	テディベア衣装制作③	ワンピース型紙作り、裁断	
14	テディベア衣装制作④	ワンピース縫製	
15	予備日		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 加藤 千尋	
科目名： 1年後期 デジタルデザイン		1学年	後期
担当者実務経験： フォトレタッチャー、カメラアシスタント		講義種別： 演習	
到達目標	Photoshopを使用した画像処理の理解と技術習得		
回	授業内容	課題内容	備考
1	授業概要 画質・解像度		
2	構図、フレーミング	解説、実践	
3	雑貨撮影	予備	
4	雑貨撮影	予備	
5	カフェラテ	ブラシ	
6	図形	パス練習	
7	道路標識	パス実践	
8	ひまわり	覆い焼き・焼き込み スクリーン	
9	スケッチ	色域指定	
10	モデル切り抜き	自動選択 髪の手合成	
11	合成①	Photoshopチュートリアル海	
12	合成②	Photoshopチュートリアル海	
13	メロンソーダ	パス、色変換	
14	試験対策	復習、質疑応答	
15	試験	筆記、実技、暗記	
成績評価	授業毎の提出物と、最終日の試験の点数		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 森 賢太郎	
科目名： 1年後期 ファッションコーディネート		1学年	後期
担当者実務経験： フリースタイリスト29年 CM、広告、雑誌などの衣装担当		講義種別： 実技	
到達目標	より専門的な知識の習得及び、アイデアの創出		
回	授業内容	課題内容	備考
1	スニーカートレンドリサーチ	スニーカーテーマリサーチ及びレポート提出	
2	スニーカーテーママップ作成 (1/3)	スニーカーテーマのファッションマップ作成	
3	スニーカーテーママップ作成 (1/3)	スニーカーテーマファッションマップ作成	
4	スニーカーテーママップ作成 (3/3)	スニーカーテーマのファッションマップ作成及び完成提出	
5	スニーカーリメイクプラン	スニーカーリメイク企画書作成提出	
6	スニーカーリメイク作成 (1/3)	スニーカーリメイク作業	
7	スニーカーリメイク作成 (2/3)	スニーカーリメイク作業	
8	スニーカーリメイク作成 (3/3)	スニーカーリメイク作成及び完成提出	
9	スニーカーリメイクコーディネート撮影	作成したスニーカー作品を着用して全身コーディネート撮影	
10	スニーカーリメイクコーディネート平面構成 (1/3)	撮影した作品を使用した平面構成	
11	スニーカーリメイクコーディネート平面構成 (2/3)	撮影した作品を使用した平面構成	
12	スニーカーリメイクコーディネート平面構成 (3/3)	平面構成完成提出	
13	2027Springトレンドリサーチ	トレンドのリサーチレポート提出	
14	2027Springトレンドマップ作成 (1/2)	トレンドマップの作成	
15	2027Springトレンドマップ作成 (2/2)	トレンドマップの作成及び完成提出	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 1年後期 ポートフォリオ制作		1学年	後期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 実技	
到達目標	ブランディング内容を文章化し、イメージと合わせて具体化しながら自ブランドのポートフォリオを作成、自ブランドをPR・プレゼンテーションできるようにする		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己探究アンケートを記入し、個別に面談 並行してブランドのイメージビジュアル作成		
2	マーケティングを座学し、自ブランドに必要な市場をリサーチ、リポートにまとめる		
3	市場リサーチの結果からポジショニングマップとKBF表を作成		
4	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
5	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
6	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
7	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
8	ブランディングのテイスト・ブランド名・ロゴ項目について座学、リサーチからテイスト・ブランド名・ロゴを設定する		
9	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
10	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
11	完成したブランディングのバランスをとりながら企画内容をまとめて、新たなイメージビジュアルを作成		
12	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
13	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
14	プレゼンリハーサル(練習)		
15	ブランディング企画プレゼンテーション(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 1年後期 マーケットビジネス		1学年	後期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 演習	
到達目標	自ブランドの特性を認識して、個性や強み(コアコンピタンス)をつくり、競合に対しての差別化をはかる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己探究アンケートを記入し、個別に面談 並行してブランドのイメージビジュアル作成		
2	マーケティングを座学し、自ブランドに必要な市場をリサーチ、レポートにまとめる		
3	市場リサーチの結果からポジショニングマップとKBF表を作成		
4	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
5	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
6	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
7	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
8	ブランディングのテイスト・ブランド名・ロゴ項目について座学、リサーチからテイスト・ブランド名・ロゴを設定する		
9	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
10	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
11	完成したブランディングのバランスをとりながら企画内容をまとめて、新たなイメージビジュアルを作成		
12	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
13	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
14	プレゼンリハーサル(練習)		
15	ブランディング企画プレゼンテーション(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名： 1年後期 英語・英会話		1学年	後期
担当者実務経験： 翻訳家・英会話講師		講義種別： 講義	
到達目標	①間違いを恐れず話せるようになる。②知っている言葉を使ってできる限りコミュニケーションをとる努力ができるようになる。③アルファベットと数字を使いこなせるようになる。④自己紹介ができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	カタカナ英語・自己紹介		
2	アルファベット・数		
3	10,000以上の数		
4	質問に答える		
5	人物説明・ハロウィン		
6	ゲーム		
7	VとF・算数		
8	パンフレットを読む		
9	TH・アンケートに答える		
10	名前と発音		
11	BとV・広告をつくる		
12	RとL・クリスマス		
13	単語クイズ		
14	スピーチを書く		
15	スピーチをする		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10%		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 三吉 由美子	
科目名： 1年後期 革小物・彫金		1学年	後期
担当者実務経験： 彫金、革小物作家、デザイナー		講義種別： 演習	
到達目標	革小物の制作、展示		
回	授業内容	課題内容	備考
1	店舗リサーチ（材料店のリサーチ）	天神エリア、川端エリア、博多エリア	
2	店舗リサーチ（材料店のリサーチ）	発表	
3	革小物制作	端皮を使って。カシメ、バネホック、5作品。	
4	革小物制作 編み方	丸編etc. カシメ、バネホック、作品。	
5	革小物制作	提出10作品	
6	革の小物 サイフ	型紙。カシメ、ホック。パンチでデザイン。	
7	革の小物		
8	イラストボード製作		
9	イラストボード製作		
10	革のパーク製作（アートでの製作）		
11	革のパーク製作（アートでの製作）		
12	革のパーク製作（アートでの製作）		
13	革のパーク製作（アートでの製作）		
14	発表会 展示		
15	結果発表		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 山道 由布子	
科目名： 1年後期 雑貨アクセサリ制作		1学年	後期
担当者実務経験： レジンアートデザイナー（yufu color）として、国内・国外販売の経験をし、現在約20店舗以上の常設店舗やポップアップを展開中		講義種別： 演習	
到達目標	オリジナルデザイン・ディスプレイまで販売に必要な知識の習得		
回	授業内容	課題内容	備考
1	・後期授業内容の説明、 ・来年に向けて学祭のブラッシュアップ ・後期分台紙制作		
2	・ハーバリウム		
3	・ビーズを使ったピンワーク① →フリンジアクセサリ作り		
4	・ビーズを使ったピンワーク② →フリンジアクセサリ作り		
5	・ミンクファーを使ったアクセサリ制作		
6	・フォトパネル作り		
7	・スマホ撮影(写真科と合同授業)2回分		
8	・クリスマスプレゼント交換会 →アイデア出し		
9	・クリスマスプレゼント交換会 →制作		
10	・クリスマスプレゼント交換会		
11	・⑦の2回分→休講		
12	・ディスプレイ制作		
13	・ディスプレイ制作		
14	・ディスプレイ制作		
15	・期末技量考查準備		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 橋川 彩	
科目名： 1年後期 手芸		1学年	後期
担当者実務経験： ファッションの専門学校を卒業後、オーダー帽子のアトリエに勤務。その後刺繍を学ぶためインドへ渡り、様々な手仕事に触れる。帰国後は、作家、パタンナー、手芸洋裁講師として活動し、現在は専門学校にて手芸やソーイングの授業を担当。		講義種別： 演習	
到達目標	様々な手芸を学び基礎技術を身につける。 作り手のポリシーを作品に反映し、用途や機能性、安全性、経済性などを考慮するとともに作品の完成度を高める。 常に感性を開拓しながら、トレンド性や他分野との融合を意識するなど広い視野でものづくりに臨み、新しい作品を生み出すことを目指す。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	刺繍①	刺繍サンブラー制作 ■基礎知識 ■準備	
2	刺繍②	刺繍サンブラー制作 ■糸の刺繍	
3	刺繍③	刺繍サンブラー制作 ■糸の刺繍	
4	刺繍④	刺繍サンブラー制作 ■ビーズ刺繍	
5	刺繍⑤	刺繍サンブラー制作 ■リボン刺繍	
6	テディベア①	テディベア制作 ■準備 ■縫製 ・ パーツ縫い(胴)	
7	テディベア②	テディベア制作 ■縫製 ・ パーツ縫い(手、足、耳)	
8	テディベア③	テディベア制作 ■縫製 ・ パーツ縫い(顔、耳ラダーステッチ) ・ 顔縫つめ、ジョイント	
9	テディベア④	テディベア制作 ■縫製 ・ 顔の造形(目、耳、口) ・ 手足縫つめ	
10	テディベア⑤	テディベア制作 ■縫製 ・ ジョイント ・ 縫つめ	
11	フリーステッチング、パンチニードル①	フリーステッチングブローチ、パンチニードルコースター制作	
12	フリーステッチング、パンチニードル②	フリーステッチングブローチ、パンチニードルコースター制作	
13	フリーステッチング、パンチニードル③	フリーステッチングブローチ、パンチニードルコースター制作	
14	フリーステッチング、パンチニードル④	フリーステッチングブローチ、パンチニードルコースター制作	
15	予備		
成績評価	出席および習熟度、授業内の各課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 1年後期 就職対策		1学年	後期
担当者実務経験：・朝日新聞社 東京本社 宣伝部・（株）プランニング秀巧社 経営企画部長・ILPお茶の水医療福祉専門学校 副校長・講師：中村学園大学流通科学部、久留米歯科衛生専門学校、九州英数学館、共生館カレッジなど・中村学園大学・短期大学部 キャリア・カウンセラー・厚生労働省 就職ガイダンス講師・福岡県 県立学校等初任者研修 講師・厚生労働省 キャリアコンサルタント／キャリアコンサルティング技能士 試験委員		講義種別： 演習	
到達目標	①自分らしいキャリアについて主体的・能動的に考察し、卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②就職活動の流れ・ポイントを理解し、主体的に取り組むことができるようになる。 ③社会人として求められる心がまえ・姿勢や能力が理解でき、それを実践できるようになる。 ♣本講座は、就職だけを到達目標とするのではなく、卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ♣講座内容を実践に活かすために、全講座を通して、個別対応・指導を実施する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	第1回 オリエンテーション 自己分析1 社会人基礎力チェック	第1回 社会人基礎力チェック	
2	第2回 自己分析2 アセスメントから自分を知る エゴグラム・モチベーショングラフ作成	第2回 エゴグラム／モチベーショングラフ作成	
3	第3回 自己分析3 コミュニケーション力・人間力チェック	第3回 コミュニケーション力・人間力チェック	
4	第4回 他己分析 ジョハリの窓	第4回 ジョハリの窓	
5	第5回 仕事理解 職業に対する興味を知る 職業興味検査VPI	第5回 職業興味検査（VPI実施）	
6	第6回 自己分析・他己分析から自己PRシートを作成 強み・弱みシート作成	第6回 強み・弱みシート作成	
7	第7回 履歴書作成の基本 学校様式履歴書の基本事項記入	第7回 学校様式履歴書作成 ①	
8	第8回 趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方 学校様式履歴書の記入	第8回 学校様式履歴書作成 ②	
9	第9回 自己PRの書き方 自己PRシート作成	第9回 自己PRシート作成	
10	第10回 ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の書き方 学生生活マトリックス／ガクチカシート作成	第10回 学生生活マトリックス／ガクチカシート作成	
11	第11回 自己PR／ガクチカ作成 個別対応	第11回 自己PR／ガクチカ作成	
12	第12回 ESとは？ 応募書類作成の手順、郵送の知識／封筒の書き方	第12回 応募書類（封筒作成）	
13	第13回 送付文の書き方／メールの書き方 面接の形式と流れ	第13回 送付文作成	
14	第14回 面接の身だしなみ web面接・グループディスカッションのポイント		
15	第15回 面接（入退室の流れ） 自己PR／ガクチカ作成	第15回 自己PR／ガクチカ作成	
成績評価	・出席および授業態度、習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 ・期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 ・各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 ・A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格”		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 1年後期 商品企画		1学年	後期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 演習	
到達目標	自ブランドの特性を認識して、個性や強み(コアコンピタンス)をつくり、競合に対しての差別化をはかる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己探究アンケートを記入し、個別に面談 並行してブランドのイメージビジュアル作成		
2	マーケティングを座学し、自ブランドに必要な市場をリサーチ、レポートにまとめる		
3	市場リサーチの結果からポジショニングマップとKBF表を作成		
4	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
5	ブランディングのターゲット項目について座学、リサーチからターゲット層とペルソナを設定、自ブランドのニーズ・商品ラインナップを企画する		
6	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
7	ブランディングのコンセプト項目について座学、リサーチからコンセプトを設定する		
8	ブランディングのテイスト・ブランド名・ロゴ項目について座学、リサーチからテイスト・ブランド名・ロゴを設定する		
9	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
10	完成したブランディングから、商品ラインナップを企画、そこからイメージするブランドのオリジナル商品を企画する		
11	完成したブランディングのバランスをとりながら企画内容をまとめて、新たなイメージビジュアルを作成		
12	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
13	ブランディングした内容をパワーポイントにまとめ、プレゼン原稿をつくる		
14	プレゼンリハーサル(練習)		
15	ブランディング企画プレゼンテーション(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 木戸 芽依	
科目名： 1年後期 販売実践		1学年	後期
担当者実務経験： アパレル販売、美容部員、アクセサリ販売制作。		講義種別： 演習	
到達目標	販売接客業を理解し、接客業についた時に、活かせるよう学ぶ。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	企業研究のため外出		
3	販売接客業 ～ディスプレイの仕方		
4	販売接客業 ～正しい言葉使い		
5	企業研究のため外出		
6	着用画像作成(アクセサリ)		
7	myブランド 作成 (PowerPoint)		
8	myブランド コンセプト発表		
9	myブランド 店内ディスプレイ作成		
10	myブランド ショッパー 台紙 作成		
11	myブランド 告知用画像制作		
12	販売接客業 ～購買心理		
13	販売接客業 ～8段階の購買心理		
14	myブランド 発表		
15	フィードバック		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 松山 日出男	
科目名： 2年前期 アプリケーション演習		2学年	前期
担当者実務経験： 当校指導歴1988年度～ 日本情報処理検定協会 検定委員歴20年		講義種別： 演習	
到達目標	ホームページ作成検定1級合格レベル		
回	授業内容	課題内容	備考
1	html①		
2	html②		
3	html③	4級レベル練習問題	
4	css①		
5	css②	3級レベル練習問題	
6	Dreamweaverの基本操作①		
7	Dreamweaverの基本操作②		
8	css③	課題作成	
9	Dreamweaverの応用操作①	2級レベル練習問題①	
10	Dreamweaverの応用操作②	2級レベル練習問題②	
11	1級レベル練習問題①		
12	イメージマップ	答案練習①	
13	JavaScript	答案練習②	
14	フォームの挿入	答案練習③	
15	検定（期末）試験		
成績評価	出席点25% 課題提出点50% 平常点25%（平常点は出席点を超えない）		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 上村 未由	
科目名： 2年前期 カラーコーディネート検定		2学年	前期
担当者実務経験:海外ブランドを扱うジュエリーショップに勤務し、接客販売および商品提案業務に従事。ジュエリーコーディネーター資格取得の知識を活かし、素材、デザイン、用途に応じた提案を行う。その後、ブライダル業界にて新郎新婦および列席者への衣裳提案、パーティー会場のコーディネート、ブークおよび会場装花の提案など、結婚式全体のトータルコーディネート業務に従事。		講義種別： 演習	
到達目標	色彩検定2級合格		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1年時復習		
2	p.34 - 40 マンセル表色系		
3	p.90 ファッションの色彩		
4	p.78 ビジュアルデザイン		
5	p.116 景観色彩		
6	2級検定範囲復習		
7	検定対策模擬1		
8	模擬試験解答・解説 不得意分野の復習		
9	検定対策模擬2		
10	模擬試験解答・解説 不得意分野の復習		
11	検定振り返り いろいろなイメージ配色1	季節・行事・イメージの特徴に合ったコーディネートをつくる	
12	色のはたらき ・さまざまな色のはたらきや役割について		
13	色の象徴性	世界各国の国旗デザインやその色遣いの意味を調べる	
14	国旗のデザイン1	架空の国の背景や設定を自分で考え、国旗のデザインをする	
15	国旗のデザイン2	架空の国の背景や設定を自分で考え、国旗のデザインをする	
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 西村 政俊	
科目名： 2年前期 ソーイング制作		2学年	前期
担当者実務経験： アパレル会社企画部勤務→ファッションデザイン会社（個人事業）		講義種別： 実技	
到達目標	1年生で学んだことの理解を深め、実践で役立つ知識や技術を習得する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	テキスタイルの制作①	ゴムはんこ	
2	テキスタイルの制作②	染色	
3	ネクタイ制作①	生地作り、裁断	
4	ネクタイ制作②	縫製	
5	付け襟制作①	型紙作り、裁断	
6	付け襟制作②	縫製	
7	付け襟制作③	縫製	
8	ミトン制作①	キルティング作り	
9	ミトン制作②	裁断	
10	ミトン制作③	縫製	
11	オリジナル作品制作①	家庭用ミシンを駆使	
12	オリジナル作品制作②	裁断	
13	オリジナル作品制作③	縫製	
14	オリジナル作品制作④	縫製	
15	予備日		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 加藤 千尋	
科目名： 2年前期 デジタルデザイン		2学年	前期
担当者実務経験： フォトレタッチャー、カメラアシスタント		講義種別： 演習	
到達目標	写真の基礎的な知識、最低限の加工技術を身につけること		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1年次の復習	両クラスの習熟度を揃える	
2	人物切り抜き	背景と馴染ませる	
3	フレア合成	乗算、スクリーン	
4	羊	背景を整えて天気を変える	
5	剣	切り抜き、炎合成、変形	
6	部屋に女の子	複数素材からの合成	
7	合成素材の撮影、調達		
8	画像を参考に合成①		
9	画像を参考に合成②		
10	背景素材とモチーフの合成①		
11	背景素材とモチーフの合成②		
12	背景素材とモチーフの合成③		
13	簡単なレタッチと合成	雨と雷を作る	
14	試験対策	復習、質疑応答	
15	試験	筆記・実技・暗記	
成績評価	授業毎の提出物と、最終日の試験の点数		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 2年前期 ポートフォリオ制作		2学年	前期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 実技	
到達目標	ブランディング内容を文章化し、イメージと合わせて具体化しながら自ブランドのポートフォリオを作成、自ブランドをPR・プレゼンテーションできるようにする		
回	授業内容	課題内容	備考
1	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
2	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
3	ポートフォリオ用にショップ(店舗)リサーチ・企画する		
4	ポートフォリオ用にショップ(店舗)リサーチ・企画する		
5	ポートフォリオ用にネットショップ・SNSアカウントを企画・登録する		
6	ネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを企画・撮影		
7	ネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを企画・撮影		
8	学祭・卒制内容をリサーチ・企画する		
9	学祭・卒制内容をリサーチ・企画する		
10	学祭・卒制内容をリサーチ・企画する		
11	卒制企画のパワーポイント・プレゼン原稿をつくる		
12	卒制企画のパワーポイント・プレゼン原稿をつくる		
13	卒制企画のパワーポイント・プレゼン原稿をつくる		
14	卒制のプレゼンリハーサル(練習)		
15	卒制のプレゼン(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 2年前期 マーケットビジネス		2学年	前期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 実技	
到達目標	市場性について知識を学習し、顧客層に関する情報をリサーチから割り出し、マイブランド/ショップをブランディングする		
回	授業内容	課題内容	備考
1	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
2	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
3	自ブランドのショップ店舗を企画 必要な項目のリサーチ・設定		
4	自ブランドのショップ店舗を企画 必要な項目のリサーチ・設定		
5	自ブランドのネットショップに必要な項目のリサーチし、ネットショップを企画・登録		
6	ネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを企画・撮影		
7	ネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを企画・撮影		
8	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画		
9	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画		
10	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画		
11	卒制内容をパワーポイントにまとめてプレゼン原稿をつくる		
12	卒制内容をパワーポイントにまとめてプレゼン原稿をつくる		
13	卒制内容をパワーポイントにまとめてプレゼン原稿をつくる		
14	卒制プレゼンリハーサル(練習)		
15	卒制プレゼン(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名： 2年前期 英語・英会話		2学年	前期
担当者実務経験： 翻訳家・英会話講師		講義種別： 講義	
到達目標	①英語話者と英語による意思疎通を試みることができるようになる（知っている単語を駆使する、ジェスチャーを使うなど）。②日常生活・海外旅行時の簡単な質疑応答ができるようになる。③読む・書くだけでなく、聴く・話すができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	質問をする		
2	買い物をする		
3	道案内をする		
4	道路標識		
5	入国審査・税関を通る		
6	ゲーム		
7	接頭辞		
8	海外の祝日		
9	アンケートに答える		
10	小切手を書く		
11	食品・身体・職業・ことわざ		
12	アニメ・歌		
13	単語クイズ		
14	スピーチを書く		
15	スピーチをする		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10%		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 三吉 由美子	
科目名： 2年前期 革小物・彫金		2学年	後期
担当者実務経験： 彫金・革小物作家、デザイナー		講義種別： 実技	
到達目標	スズのモールド制作。革とスズとのコラボ。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	彫金の説明		
2	スズをシリコン型に流し込み研磨（１）	モールド	
3	（１）を作品とする。	デザイン（各自）したものをワックスで形にする…（A）	
4	（A）のワックス型をシリコンでモールド型を制作…（A-1）（B）デザイン（各自）を考える。ワックスで形にする…（B）		
5	（A-1）モールド型にあと1型（片面）を製作する…（A-2）（B）をモールド型にする…（B-1）		
6	（A-2）にスズを流し研磨。 （B-1）モールド片面を流す（シリコン型）…（B-2）		
7	（A-2）研磨 （B-2）スズを流し研磨		
8	（A-2）研磨 （B-2）スズを流し研磨		
9	仕上げ（A-2）（B-2） 宿題：革とのコラボでの作品を考える。		
10	革のデザインチェック モールド型 ワックス製作		
11	革のデザインチェック モールド型 ワックス製作		
12	革のデザインチェック モールド型 ワックス製作		
13	ディスプレイチェック		
14	展示会		
15	品評会 まとめ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 山道 由布子	
科目名： 2年前期 雑貨アクセサリ制作		2学年	前期
担当者実務経験： レジンアートデザイナー（yufu color）として、国内・国外販売の経験をし、現在約20店舗以上の常設店舗やポップアップを展開中		講義種別： 実技	
到達目標	素材作り又オリジナルデザインのクオリティを上げ、販売までの実務経験を積む。 （木・3限目14：55～17：20）		
回	授業内容	課題内容	備考
1	4／16 ・前期授業内容の説明・前期授業の必要材料・台紙の制作（パソコン）		
2	4／23(2回分)・学外見学(木戸先生と合同)→学校集合12:20～出席をとります！→福岡バルコ移動して(ディスプレイ見学・1年生引率)終わり次第、現地解散		
3	4／30 ・ドライフラワー、プリザーブドフラワーの違いについて1（フラワータッセル制作）		
4	5／14 ・ドライフラワー、プリザーブドフラワーの違いについて2（出来上がったドライフラワーを使って制作）	※制作物提出！	
5	5／21 ・ワイヤーアート1（ワイヤーアートの練習）		
6	5／28 ・ワイヤーアート2（仕上げてアクセサリにする）	※制作物提出！	
7	6／4 ・オーダー制作（アイデア出し）		
8	6／11 ・オーダー制作2（受け渡し日、校内販売アイデア出し）		
9	6／18 オーダー制作2（受け渡し予備日） ・校内販売アイデア出し・校内販売準備（制作）・校内販売期間（7/2～7/9）		
10	6／25 ・校内販売準備（制作） ・校内販売期間7/2～7/9		
11	7／2 ・校内販売スタート ディスプレイを帰るまでに終わらせる！	※1つでも多く売れること！	
12	7／9 ・校内販売撤去（校内販売の結果について）		
13	8／27 4／23分で休講		
14	9／3 ・学祭準備（台紙の制作や作品の制作） ・学園祭10/2～10/4		
15	9／10 ・学祭準備（台紙の制作や作品の制作）・学園祭10／2、3、4の3日間！		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70～79点 C評価)60～69点 D評価)不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 橋川 彩	
科目名： 2年前期 手芸		2学年	前期
担当者実務経験： ファッションの専門学校を卒業後、オーダー帽子のアトリエに勤務。その後刺繍を学ぶためにインドへ渡り、様々な手仕事に触れる。帰国後は、作家、パタンナー、手芸洋裁講師として活動。現在は専門学校にて手芸やソーイングの授業を担当。		講義種別： 演習	
到達目標	様々な手芸を学び基礎技術を身につけ、応用発展して作品に活かしていく。 作り手のポリシーを作品に反映し、用途や機能性、安全性、経済性などを考慮するとともに作品の完成度を高める。 常に感性を開拓しながらトレンド性や他分野との融合を意識するなど広い視野でのものづくりに臨み、新しい作品を生み出すことを目指す。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	刺し子①	一目刺しのコースター	
2	刺し子②	一目刺しのコースター	
3	刺し子③	ビーズ刺し子ブローチ	
4	お道具を使った手芸①	タッセルメーカー、スーパーボンボンメーカー、つまみ細工プレートを使用した作品制作	
5	お道具を使った手芸②	タッセルメーカー、スーパーボンボンメーカー、つまみ細工プレートを使用した作品制作	
6	お道具を使った手芸③	タッセルメーカー、スーパーボンボンメーカー、つまみ細工プレートを使用した作品制作	
7	パッチワーク①	4パッチコースターもしくはティーマット	
8	パッチワーク②	4パッチコースターもしくはティーマット	
9	スモッキング①	ベーシックスモッキング	
10	スモッキング②	ベーシックスモッキング	
11	スモッキング③	ラティススモッキング	
12	スモッキング④	ラティススモッキング	
13	結び	飾り結びもしくはマクラメ	
14	予備①		
15	予備②		
成績評価	出席および習熟度、授業内の各課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリーデザイン科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 2年前期 就職対策		2学年	前期
担当者実務経験：・朝日新聞社 東京本社 宣伝部・（株）プランニング秀巧社 経営企画部長・ILPお茶の水医療福祉専門学校 副校長・講師：中村学園大学流通科学部、久留米歯科衛生専門学校、九州英数学館、共生館カレッジなど・中村学園大学・短期大学部 キャリア・カウンセラー・厚生労働省 就職ガイダンス講師・福岡県 県立学校等初任者研修 講師・厚生労働省/キャリアコンサルタント/キャリアコンサルタント/キャリアコンサルタント 試験委員		講義種別： 講義	
到達目標	①自分らしいキャリアについて主体的・能動的に考察し、卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②就職活動の流れ・ポイントを理解し、主体的に取り組むことができるようになる。 ③社会人として求められる心がまえ・姿勢や能力が理解でき、それを実践できるようになる。 ♣本講座は、就職だけを到達目標とするのではなく、卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ♣講座内容を実践に活かすために、全講座を通して、個別対応・指導を実施する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	第1回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成 個別対応	第1回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成	
2	第2回 求人票の見方		
3	第3回 労働・雇用に関する基礎知識1 労働法とは？		
4	第4回 労働・雇用に関する基礎知識2 社会保険とは？		
5	第5回 給与明細の見方 マネープラン作成	第5回 マネープラン作成	
6	第6回 企業研究の方法 Job tag	第6回 企業研究 ワークシート作成	
7	第7回 グループディスカッション演習	第7回 グループディスカッション演習	
8	第8回 面接の質問と答え方		
9	第9回 ビジネス電話の基本 電話での求人の問い合わせ演習	第9回 電話での求人問い合わせ演習	
10	第10回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成、個別テーマ：挫折経験 面接指導（個別）		
11	第11回 ES／履歴書／自己PR/ガクチカ作成、個別テーマ：みんなで協力して 成し遂げたこと 面接指導（個別）	第11回 ES 個別テーマ「みんなで協力して 成し遂げた事」作成	
12	第12回 グループ面接演習	第12回 グループ面接演習	
13	第13回 ビジネスに必要な8つの意識と義務	第13回 ビジネスに必要な8つの意識と義務 ケーススタディ	
14	第14回 組織人としての心構え1 共に働く力：コミュニケーションゲームを通して学ぶ		
15	第15回 組織人としての心構え2 まとめ／3年後のキャリアプラン作成	第15回 3年後のキャリアプラン作成	
成績評価	・出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 ・期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 ・各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 ・A評価）80点以上 B評価）70～79点 C評価）60～69点 D評価）不合格”		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 國松 忠也	
科目名： 2年前期 商品企画		2学年	前期
担当者実務経験： 劇団あんみつ姫衣装部勤務経験あり。大村文化学園外部講師勤務経験あり。個人事業「Q2design」設立(ブランド設立後、福岡ファッションビル(FFB)イベント内ファッションショーやその他、福岡バルコノ博多マルイ等でポップアップ経験あり)		講義種別： 実技	
到達目標	自ブランドの特性を認識して、個性や強み(コアコンピタンス)をつくり、競合に対しての差別化をはかる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
2	プレゼンを経て、再度自ブランドのカルチャー・市場の情報をリサーチ修正と追加情報を補填する。並行して自ブランドのポートフォリオを企画・作成。自ブランドの企画を修正・商品ラインナップを再設定		
3	商品ラインナップを参考に、ショップ店舗イメージしリサーチ・企画する		
4	商品ラインナップを参考に、ショップ店舗イメージしリサーチ・企画する		
5	ショップ店舗イメージからネットショップ・SNSアカウント登録		
6	商品を使ってネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを撮影		
7	商品を使ってネットショップ・SNS用のイメージビジュアルを撮影		
8	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画する		
9	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画する		
10	学祭・卒制の内容をリサーチ・企画する		
11	卒制用のパワーポイント・プレゼン原稿を作成		
12	卒制用のパワーポイント・プレゼン原稿を作成		
13	卒制用のパワーポイント・プレゼン原稿を作成		
14	卒制プレゼンリハーサル(練習)		
15	卒制プレゼン(本番)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 木戸 芽依	
科目名： 2年前期 販売実践		2学年	前期
担当者実務経験： アパレル販売、美容部員、アクセサリ販売制作。		講義種別： 講義	
到達目標	販売接客業を理解し、接客業についた時に、活かせるよう学ぶ。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
2	企業研究のため外出		
3	販売接客業 ～ディスプレイの仕方		
4	販売接客業 ～正しい言葉使い		
5	企業研究のため外出		
6	着用画像作成(アクセサリ)		
7	myブランド 作成 (PowerPoint)		
8	myブランド コンセプト発表		
9	myブランド 店内ディスプレイ作成		
10	myブランド ショッパー 台紙 作成		
11	myブランド 告知用画像制作		
12	販売接客業 ～購買心理		
13	販売接客業 ～8段階の購買心理		
14	myブランド 発表		
15	フィードバック		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 山道 由布子	
科目名： 2年後期 卒業制作ゼミ 山道		2学年	後期
担当者実務経験： レジンアートデザイナー（yufu color）として、国内・国外販売の経験をし、現在約15店舗の常設店舗やポップアップを展開中		講義種別： 卒業制作	
到達目標	学んだ技術を基にオリジナリティを加え、自分の世界観を表現する。作り手のポリシーを作品に反映することや表現を他者に届けることを意識し、作品の完成度を高める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	企画		
2	企画		
3	企画		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	展示準備		
15	展示準備		
成績評価	卒業制作の最終評価。70点以上で合格。		